

連続講座 「軍事要塞化される 奄美・沖縄の島々」

昨年 11 月から、連続講座「軍事要塞化される 奄美・沖縄の島々」という連続講座を開催し、第 1 期は、自衛隊の基地建設に揺れる種子島・馬毛島の状況を、「戦争をさせない種子島の会」の和田香穂里さん、ミサイル基地建設が進む石垣島から市議員の内原英聡さん、ミサイル基地建設が進み、講演の直前にミサイルが搬入された宮古島から「ミサイル基地いらない宮古島住民連絡会」の清水早子さんに報告していただいた。

今年、1月からは第 2 期として、日本最西端で台湾に最も近く沿岸監視部隊が作られた与那国島から「南西諸島ピースネット共同代表」の猪股 哲さん、第 2 回は最大規模の自衛隊駐屯地があり、日米の共同訓練が繰り返される奄美市市会議員、関 誠之さんに報告をしていただいた。第 2 期の最後は、2月 24 日に 2023 年に陸上自衛隊勝連分屯地（沖縄県うるま市）に 180 人規模で地对艦ミサイル部隊の配備が予定されている沖縄島から、沖縄平和運動センターの岸本 橋さんからの報告を予定している。

2010 年から、中国を念頭に南西シフトに舵を切り、南西諸島への自衛隊の基地建設、ミサイル配備を進めてきた。台湾有事が声高に言われる中、これらの地域への自衛隊配備の問題は、本土では大きく報道はされず反対運動も静かだ。しかし、地元では粘り強い運動が続けられている。2021 年 12 月、自衛隊と米軍が、台湾有事を想定して南西諸島に米軍の軍事拠点を設ける日米の新たな共同作戦計画の原案を策定したことが明らかになり、1月 7 日に開催された、日米の外務・防衛担当閣僚による安全保障協議（2 プラス 2）で米海兵隊が自衛隊とともに沖縄など南西諸島に臨時の「機動基地」を置き、中国艦船の航行を阻止する「共同作戦計画」に合意した。もし万が一、南西諸島での有事（戦争）が起これば、住民の犠牲は必須だ。住民保護は、自治体の責任になっており、自衛隊制服組幹部は「申し訳ないが、自衛隊に住民を避難させる余力はないだろう。自治体にやってもらうしかない」と言っている。72 年前の沖縄戦の悲劇を繰り返させるわけにはいきません。ぜひ、連続講座に参加し、地元の声を聞き、反対の声をあげていきましょう。

※第 1 期と与那国島の報告は 不戦ネットのHPから視聴できます。

安保法制違憲訴訟あいち 証人尋問・原告本人尋問のご案内

2018 年に提訴した、安保法制違憲訴訟あいちの裁判で、証人尋問が決まりました。全国で行われている裁判では、すでに地裁・高裁で憲法判断はせず棄却の判決が数多く出ています。違憲判決を勝ち取るため、多くの方の傍聴をお願いします。

①証人尋問

4 月 22 日（金）12:30 集合 名古屋地裁南側

13:30 開廷 名古屋地裁 1 号法廷

17:15 報告集会 弁護士会館予定

※傍聴多数の場合は抽選になります。

抽選券は、12:50 までで、時間厳守

※途中休憩が入るので、傍聴者を入れ替えます。

証人

布施祐仁さん（ジャーナリスト）飯島滋明さん（憲法学者）

小西裕之さん（参議院議員）

②原告本人尋問

6 月 15 日（水）9:00 集合 名古屋地裁 1 号法廷

・10:00 開廷 ・17:00 終了予定

・17:15 報告集会（場所 未定）※途中入替あり。

安保法制違憲訴訟の会あいち

「ノーモア沖縄戦命どう宝の会」発足 呼びかけ人・賛同者を募っています

1月 31 日、沖縄で山城博治さん、前泊博盛さん、具志堅隆松さんらの呼びかけで「ノーモア沖縄戦命どう宝の会」が発足しました。会の呼びかけには、「私たちは琉球弧の島々が戦場になることを断じて許しません。「台湾有事」、「尖閣有事」と称して住民の命を犠牲



日米合意の破棄求める
命どう宝の会 月内発足へ準備

にすることは許され
ないことです。「日米
共同作戦計画」原案
の策定に強く抗議
し、撤回を要求しま
す。台湾、尖閣有事を
想定するミサイル部
隊の配備、ミサイル
弾薬の搬入、日米合
同訓練など一切の戦

争準備の中止を求めます。」とある。ぜひ、多くの方の賛同を！賛同は、以下から

<https://nuchidutakara.wordpress.com/>